

# コンピュータ利用による総合管理システムの開発

南日本情報センターOAシステム部

○矢野啓二、宮脇孝一

## 1. はじめに

当該事業におけるコンピュータ利用による総合管理システムの開発では、下記4項目のテーマに基づき、昭和60年度より平成元年度迄の5年間にわたり、ソフトウェアの開発を行った。

- ① 焼酎製造工程のヒストリカルトレンド表示に関するソフトウェアの開発
- ② 蒸留器の特性評価に関するソフトウェアの開発
- ③ 焼酎の微量成分に関する成分分析ソフトウェアの開発
- ④ 焼酎廃棄物利用に関するデータ蓄積の為のソフトウェアの開発

## 2. 各テーマの概要

- ① 焼酎製造工程のヒストリカルトレンド表示に関するソフトウェアの開発

焼酎の製造における各工程（製麹工程－発酵工程－蒸留工程）の機器をコンピュータで自動的に制御及び監視すると共に、各プロセスからのデータ収集を行い、実験終了後のデータのグラフ化等により、焼酎製造における諸条件の評価の為のソフトウェアの開発を行った。

- ② 蒸留器の特性評価に関するソフトウェアの開発

蒸留器の特性を評価する為、蒸留中に蒸留液を分取し、その成分を調べ、蒸留曲線の解析を行うシステムで、サンプルのデータ入力、モル基準流出率換算、及び蒸留曲線の自動解析を行うソフトウェアで構成されている。

- ③ 焼酎の微量成分に関する成分分析ソフトウェアの開発

ガスクロマトグラフによる焼酎製品の微量成分の分析データと、その焼酎製品の官能審査（きき酒）による官能審査データを元にして、焼酎の中に含まれる微量成分が、どのような影響を及ぼすかを解析する為のソフトウェアである。

- ④ 焼酎廃棄物利用に関するデータ蓄積の為のソフトウェアの開発

焼酎の製造工程から出る廃棄物について、その有効な利用法を探る為に、種々のデータを収集・蓄積するためソフトウェアで、キノコ栽培評価システム、養魚用飼料評価システム、家畜用飼料評価システム等の開発を行った。

また、廃棄物リサイクルシステムの全体図及び県内の酒造会社の分布・生産量等の情報も蓄積されている。

### 3. 総合管理システムの全体図





